

ぐぐのニヨロリ

(上演時間約 15 分)

―パネルシアター版―

山本 香穂

●登場人物など／パネルの種類

ニヨロリ(笑顔のニヨロリ、つぼから顔をだすニヨロリ、空中を飛ぶニヨロリ、家出するニヨロリ、砂の風呂に入っているニヨロリ)

ピカリ(笑顔のピカリ、笛を吹くピカリ、つぼを持つピカリ)

商人(商人、笛を吹く商人、お金を集める商人)

客A、客B、客たち

(その他パネル) つぼ、月、太陽、木、お金の入った箱、お金、お酒

●あらすじ

ピカリとへびのニヨロリは、一緒に旅をしています。

「さて、お立合い。ニヨロリの踊りが始まるよ〜」

今日も、ピカリが、たくさん人を集めています。

ピカリが吹く笛の音に合わせて、ニヨロリが踊ります。そのみごとな踊りに、お客さんは大喜び。時々けんかもするけれど、こうしてピカリとニヨロリは、仲良くやってきました。

ところがある日、悪い商人が、ニヨロリの前に現れます。

「お金があれば、大好きな砂のお風呂にも毎日入れるし、大好物の卵も好きなだけ食べられるよ」

それを聞いたニヨロリは、ピカリが寝ている間に、商人と一緒に行ってしまいます。

さてさて、どうなりますやら?..

●作者より

いつもそばにいて、仲良しの友だち。だけど、いるのが当たり前すぎて、その大切さを忘れていたかもしれません。「このお話の、ピカリとニヨロリも、どうやらそのようです。

お金もうけの好きな商人にだまされて、ニヨロリとピカリは、離ればなれになってしまいました。でも、ニヨロリは、自分にとって何が大切か、きつと気づいてくれるはず。

子どもたちも、ニヨロリの気持ちになって、一緒に考えてくれたら幸いです。

パネルシアター用に作りましたが、人形劇など自由に演じていただければと思います。

ナレーター

あるところに、ピカリとヘビのニヨロリが、おりました。二人、いえ、一人と一匹は、一緒に旅をしています。ピカリが笛を吹き、ニヨロリが踊って、お客さんに喜んでもらっているのです。

♪(音楽)〜
遠くに木 —N

ピカリ

ニヨロリのお家は、つぼの中。ピカリが、つぼを持って、歩いてきましたよ。

笑顔のピカリ、ニヨロリ

ピカリ

うんしょ。こらしよ。ニヨロリは、重いな。

つぼを持つピカリ —N

ニヨロリ

ふん。僕が重いんじゃないよ。つぼが重いだけさ。

つぼを持つピカリ 動かす

ナレーター

ニヨロリは、そういうと、長い舌をペロツとだしました。

木のそばに、つぼを持つピ

ピカリ

ハハハ。よし、あの木のそばにしよう。

カリ 動かして OUT

ナレーター

ピカリが、大きな木の前に、つぼを置きました。そして、大声でいいました。

笑顔のピカリ、つぼ —N

ピカリ

さあて、お立合い。ニヨロリの踊りが始まるよ。見なきゃ損だよ。さあ。さあ。どうぞ。

ナレーター 観客に向か
つて呼び込み動作する

ナレーター

ピカリの声に、たくさんのお客が、集まってきました。その中に、怖い顔の商人もいました。
(声かけ)商人っていうのは、物を売る仕事をしている人のことだよ。

笑顔のピカリ OUT

ピカリは、つぼの前で、笛を吹き始めました。

笛を吹くピカリ —N

ピカリ

ピーーヒヤラ。ピーーヒヤラ。

つぼ OUT

ナレーター

すると、その音に合わせて、体をくねらせたニヨロリが、つぼから顔をだしました。

つぼから顔をだすニヨロ
リ —N

ピカリ

ピーーヒヤラ。ピピピ。

笛を吹くピカリ 動かす

ナレーター

ニヨロリは、右に左に体を動かして、踊っています。

つぼから顔をだすニヨロ
リ 動かす

客A

あれ。なんか、体がムズムズしてきたぞ。

客A 動かす